



■中狭地内 調整池現況写真 (H24.3.13現在) 南西より

# Q&A その後どうなった?

そういえばあの答弁  
どうなったのかな

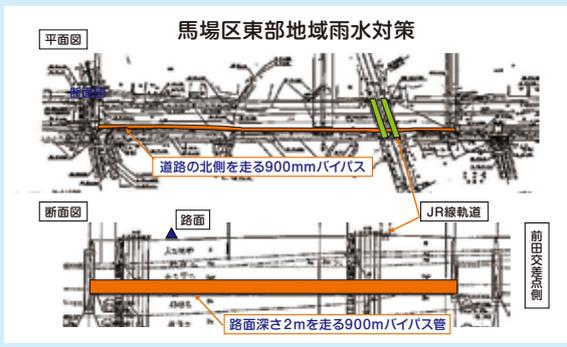
石川橋から前田の  
交差点地域の浸水  
対策はどうなった。

**問** 集中豪雨が神戸で、関東で、そして三河で発生し、大雨で人命が奪われるという災害があった。前田の交差点から東の雨水幹線には、雨水面積に対して、雨水排水流量が不足するという問題があり、その一つの対策に、JR踏切下部にバイパス管を通す方法が挙げられていたが、JR踏切の規定が壁になっていた。町の土木課をはじめ、関係各課の尽力により、JR踏切下部に雨水管バイパスを通すことが認可されたが、工事が足踏み状態である。この工事の優先順位は高いと考えるが、その時期はいつ頃か  
(平成20年9月議会)

**答** 町長 10年確率の降雨に対応できる排水施設とするためには、JR軌道を横断して、口径800mmの雨水管を布設すること上流域に500mの雨水調整池が必要である。多額な費用が必要なことから、国庫補助事業として、雨水調整池の検討やJRとの協議を重

ねていく。  
その後

平成23年9月議会で公共下水道工事(雨水調整池)および公共下水道雨水管渠布設工事の契約議決をした。中狭地内に貯水能力千9百7立方メートルの雨水調整池を新設している。また、JR武豊線軌道および踏み切りを横断し、口径900mmの雨水管を布設する工事を実施している。長年にわたり、地域の皆さんと共に取り組みしてきた冠水対策が本工事の完了によって完結する。



## 紀の川市議会 松島町議会 が研修に来られました

見やすくよみやすい  
議会だより作りを

和歌山県 紀の川市議会  
和歌山県 紀の川市は、和歌山県の北部に位置し、人口約6万7千人。平成17年に5町が合併し誕生した、今年で7年目を迎える市です。

2月2日、紀の川市議会広報編集特別委員会が、議会だよりの発行・編集の視察のため来町されました。

武豊町議会から加藤議長、石原副議長、議会だより特別委員会梶田委員長始め6人の委員が出席し、意見交換をしました。



■紀の川市議会の議会だより

紀の川市議会だよりは、近畿市町村広報コンクールで2年連続奨励賞を受賞しています。「めざせグランプリ」を合言葉により見やすく、よみやすい広報づくりに努めています。

「お互いにグランプリを目指してがんばりましょう！」とエールをいただきました。

自然災害に強い  
まちづくりを

宮城県 松島町議会  
宮城県松島町は、宮城県の海岸部中央にあり、人口約1万5千3百人の町です。日本三景に数えられる観光のまち、国宝瑞巖寺などの文化遺産も残されている歴史のまちでもあります。

2月13日、松島町議会第2常任委員会が、「保育所広域入所制度の取り組みについて」と「津波避難ビルの指定について」視察に訪れました。

「保育所広域入所制度の



■松島町議会との研修風景

取り組みについては、子育て支援課の担当から広域入所保育の受委託の流れや手続きの方法などを説明し、松島町議会からの質問に答えました。

「津波避難ビルの指定について」は、防災交通課の担当が武豊町の津波対策を紹介。東日本大震災の大被害を受けた松島町からのアドバイスなどをいただきました。意見交換を行いました。

武豊町は、復興支援のため、平成23年8月から松島町へ職員を派遣しています。今後松島町のために支援を続けます。